

全国大学書道学会

会報

20

平成30年(2018)
6月1日発行
全国大学書道学会

学会六十周年に寄せて

会長 平形 精一

本会は今回で創立六十周年の記念すべき年を迎える。誠に慶賀に堪えない。初期の頃は「学会」を冠しても長老の親睦会的な性格を帯びていたことが本誌第九号の巻末資料から伺えるが、近年は査読制度を導入するなど学会としての体裁も整い、若手の台頭も著しく隔世の感が強い。

ところで、昭和六十年に教育部門が独立したことに伴い、会員もいずれかの学会に主軸を置いて活動しているようだ。しかし、求めるところは、大学人として教育・論文・書作を通して書の本質や教育のあり方を共同して究明することにあり、「両学会は『両輪』の関係にあることは言うまでもない。

ところで個人名をあげて恐縮だが、本会常任理事の杉山勇人氏の研究は、実作は別にしてその論文には注目すべきものがある。氏は創刊号より印章の研究を発表しているが、最近では明治期の「書」の概念を「文芸」との関係から解明し、昨年は戦前・戦後の書字教育を言語の本質や国語教育の動向をふまえながら考察し、学会奨励賞に輝いている。その論文はこれからの書写・書道教育や書・文字文化のあり方に示唆を与えている。また、思想的・社会的視点に裏打ちされた氏の学究的態度はいずれの学会の後進に対しても模範的であり、今後の活躍が大いに囑望される。斯界の未来に期待したい。

第六〇回滋賀大会開催と六〇周年記念行事について

副理事長 鈴木 晴彦

本学会の設立は、昭和三四年のことでした。戦後、日本が高度経済成長期に入り、ようやく豊かになりつつあった中での発足でした。時代のシンボル東京タワーが完成し、皇太子明仁親王(今上天皇)と正田美智子様が、この年ご成婚されました。世の中は祝賀ムード一色につつまれ、まさに新時代の到来を予感する気運にありました。こうした時代背景の中、本学会は書道に関する研究を目的とする学術団体として産声をあげ、以来六〇年間、脈々と学会活動を継承してきました。

平成三〇年をむかえた今年、年一回開催の大会は、六〇回を数えます。学会の核となる学会誌も、誌名を変えながら刊行され続けてきました。これまで学会誌は『全国大学書道学会研究報告』、『全国大学書道学会研究収録』、『全国大学書道学会紀要』というように改称され、研究発表の受け皿として役割を担ってきました。ただし、既刊の学会誌に巻数や号数が付されることなく、刊行されてきました。そこで平成一九年、リニューアルを機に『大学書道研究』創刊より号数が付され、今年一一号となりました。

さて、本年度の大会は、会場校の中村史朗先生のご尽力により、九月三〇日に滋賀大学教育学部で開催されます。滋賀大学での前回開催は、第三四回(平成四年)でしたから、二六年ぶりとなります。琵琶湖から流れ出る清流瀬田川沿いの小高い丘陵地に建つ、広大なキャンパスで行われます。また、松尾芭蕉が晩年をすごした幻住庵や紫式部が『源氏物語』を執筆したとの伝説が残る石山寺も近く、時間に余裕のある会員諸氏にあっては、文学散歩の計画もよろしいかと思えます。奮ってご参加を願っています。

なお、懸案の六〇周年記念行事については、これまで会員諸氏から多くのご意見をお寄せいただきましたが、集約勘案した結果、台湾研修旅行に決まりました。実施日程は、今年一二月二五日(火)から二七日(木)の二泊三日で計画を進めております。現在、具体的な訪問先などについて、その詳細を詰めているところです。こちらの企画にも、奮ってご参加を願っています。

全国大学書道学会 平成30年度(滋賀)大会 第1次案内

下記の要領で、全国大学書道学会平成30年度(滋賀)大会を開催します。ふるってご参加、研究発表のご応募、会員書作展へのご出品をいただきたくご案内申し上げます。

- 1) 主 催 全国大学書道学会
- 2) 開催大学 滋賀大学
- 3) 開催日 平成30年9月30日(日)
- 4) 大会会場 滋賀大学教育学部(教室未定)
〒520-0862 滋賀県大津市平津2-5-1
- 5) 参加費 3,000円(※大学院生は2,000円)
- 6) 日 程 (予定 *発表件数により変動する場合があります。)
9:00 受付 (教育学部大講義室前)
9:30~10:30 開会式・総会 (教育学部大講義室前)
10:30~12:00 研究発表(1) (教育学部大講義室ほか)
12:10~ 昼食
13:00~14:35 研究発表(2) (教育学部大講義室ほか)
14:50~16:20 大会記念講演 (教育学部大講義室)
16:30 閉会

7) 研究発表の募集

大会における研究発表を希望する会員(含、準会員)は、下記の要領を確認の上、発表要旨を期日までに事務局宛に郵送またはE-mail添付ファイルにてお送りください。内容は未発表のものに限ります。応募者には、後日、発表の可否を連絡いたします。なお、共同研究の場合、発表者以外の方が会員でない場合でも発表は可能です。なお、研究発表は、発表用レジュメまたはパワーポイント等を利用して行っていただきます。発表用レジュメ(100部)は、**9月25日(火)必着**で開催大学担当者(中村史朗先生)宛に送付願います。発表後、学会誌へ投稿される場合には、連絡先を明記した別紙とともに、完成原稿(3部)を11月10日(土)までに編集局宛に送付願います。

(1) 発表要旨

- ・要旨には、研究の意義・ねらい、方法、結論等を簡潔に記してください。
- ・体裁は、word文書A4標準設定、縦置き縦書き、上下2段組。1段は、縦33字、横23行、10.5ポイントで設定。
- ・要旨は上段に記載し、最初の4行に、タイトル、所属機関名及び役職・発表者氏名(共同研究の場合は全員)を記し、本文は500字以上627字(19行)以内、全23行以内としてください。
- ・下段には、発表者氏名、郵便番号、住所、電話(FAX)番号、E-mailアドレスを付記してください。会場施設の都合により、発表の際に使用するノートパソコンは各自ご用意ください。

(2) 申込締切 **7月10日(火)必着**

- (3) 送付先 〒247-8512 神奈川県鎌倉市大船6-1-3 鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科
電話:0467-33-8211 E-mail:sgym-hyt@kamakura-u.ac.jp
全国大学書道学会事務局 杉山 勇人 宛

8) 学会誌への投稿

大会における研究発表を経ずに、学会誌『大学書道研究』に研究論文を投稿される際は、学会誌または学会ホームページ掲載の執筆要項を確認の上、上記(1)にならった**論文要旨を9月10(月)まで**に事務局宛に送付・申し込みいただき、**完成原稿(3部)を11月10日(土)まで**に事務局宛に送付願います。

- *大会において研究発表をされた方が、当該年度発行の学会誌に投稿される場合は、再度の論文要旨の送付・投稿申し込みは必要ありません。なお、次年度以降に発行される学会誌に投稿される場合は、所定の期日までに、あらためて論文要旨を送付し、投稿の申し込みをおこなってください。

9) 会員書作展

会員作品展を以下のように開催いたします。ふるってご出品ください。出品する会員・準会員は、下記の要領によってお申し込みください。詳細は、同封別紙の出品要項をご覧ください。

- (1) 会 期 9月28日(金)～9月30日(日) 9:00～17:00
 (2) 会 場 滋賀大学教育学部
 (3) 協 賛 費 7,000円(作品表装等の費用として)
 (4) 作品規格 同封別紙「全国大学書道学会会員書作展出品要項」でご確認ください。
 (5) 内 容 自由
 (6) 送付期日 **8月10日(金) 必着** ※協賛費を払込の上、作品、出品票を同封のこと
 (7) 送 付 先 滋賀大学教育学部国語教育講座 中村 史朗(中村研究室)
 E-mail: shirou@edu.shiga-u.ac.jp 電話: 077-537-7724

* なお、協賛費は郵便振替口座払い込みとなります。今回同封の払込取扱票(赤色)を使い、年会費と併せて払い込んでください。

* 出品作品は開催大学にご寄贈いただくこととなりますので、あらかじめご了承ください。

10) 大会記念講演 講師: 弓野 隆之先生(大阪市立美術館学芸課長) 演題: (2次案内にてお知らせします)

11) 三学会合同懇親会

- 日 時 9月29日(土) 17:30～19:30
 場 所 滋賀大学生協食堂
 会 費 未定

12) 理事会 常任理事、理事(地区担当、各局担当)はご出席ください。

- 日 時 9月28日(金) 18:30～20:30(予定)
 会 場 未定

13) 大会会場への交通・宿泊・昼食について

交 通: JR琵琶湖線[石山]駅/京阪電鉄石山坂本線[京阪石山]駅から
 京阪バス[52][53][54]系統……新浜(南郷中学校経由)行/大石(南郷中学校経由)行/南郷二丁目東(野々宮経由)行/南郷二丁目東(仙寿の郷経由)行/乗車、「滋賀大西門」バス停下車、徒歩すぐ。

京阪バス[2][4]系統……新浜行/大石行乗車、「滋賀大前」バス停下車、徒歩7分。

* バス料金は230円、乗車時間は交通事情にもよりますがおよそ12～13分です。

* JR琵琶湖線の所要時間(新快速乗車の場合)

京都→石山: 14分、大津→石山: 5分、草津→石山: 7分、彦根→石山: 35分

* 近隣より自動車で来られる場合、駐車場もあります。

宿 泊: 各自ご手配願います。JR石山駅周辺には宿泊施設が少ないので、JR琵琶湖線沿線駅(京都、山科、大津、草津)など、周辺も含めてご検討ください。

昼 食: 大学徒歩圏内には、レストラン・喫茶店等がありません。昼食は各自ご持参ください。

【お問合せ】

研究発表、大会に関するお問い合わせは、学会事務局長(杉山勇人/鎌倉女子大学/sgym-hyt@kamakura-u.ac.jp) 大会に関するお問い合わせは、下記開催大学担当者までE-mailをお願いいたします。

滋賀大学教育学部国語教育講座 中村史朗(中村研究室)

E-mail: shirou@edu.shiga-u.ac.jp 電話: 077-537-7724

本学会と併せて、下記の学会等が開催されます。(ただし、参加費は別扱いです。)

- * 9月28日(金) 12:00～ 日本教育大学協会(教大協)全国書道教育部門役員会
 13:30～ 日本教育大学協会(教大協)全国書道教育部門会
 16:30～ 全国大学書写書道教育学会理事会
 18:30～ 全国大学書道学会理事会
 * 9月29日(土) 9:00～ 全国大学書写書道教育学会
 17:30～ 三学会合同懇親会
 * 9月30日(日) 9:00～ 全国大学書道学会

追悼 前田次郎先生

野中 浩俊

四月七日、前田次郎先生が逝去された。前田先生は跡見女子大学教授を勤められ、長い間、本学会の理事・副会長・参与として会に大きく寄与された方である。

茫洋たる風貌、飄々たる言動、そして人情に厚いお人柄は多くの人々に愛され、本学会に於てはやゝ特異な大きな存在であった。

先生は東京学芸大学在学中より上田桑鳩先生に師事され、古典研究と共に斬新な現代書作家として活躍されたが、研究分野は碑法帖を主とする中国関係の書で、日中国交回復後の早い時期から訪中を重ね、各地の書の遺蹟探索や拓本の蒐集に情熱を注がれていた。先生の中国志向は古書・古文物に及び、金石趣味・拓本への執着は蒐集のみならず全搨本を自ら剪装本に仕立て直したり、卷子・軸装等も手掛けて、玄人はだしの職人技は常に見る者を唸らせる程であった。

先生は当時まだ封建的な風気が色濃く残る土地柄、九州宮崎の素封家の生まれで、実に大らか、物事のスジを通すお人柄であった。

しかし、その反面、仕事における緻密さや、対人関係に於ては細やかな心配りを忘れぬ、胆小心小、正に近年稀な人物として敬愛出来る先輩であった。私事ながら先生とは「不手非止」発足当初より同人誌発行・同人展開催・本学会役員等、実に四十年にも及ぶ交誼を得、その間、三度に亘るシルクロードの旅や文物に関わる熱い談論を通して教えられる事多く、今も忘れ得ぬ思い出である。

思えば書を愛し、人を愛し、酒を愛する悠々たる人生であった。……今頃、彼岸で畏友小木太法先生と久々の再会を喜び、共に盃を手に雅談・放談さぞ盛り上っておられる事であろう。

長い間の本会でのご尽力に対し心より御礼を申し上げ、併せてご冥福を祈り追悼の辞としたい。

年会費納入のお願い

払込取扱票(赤色)により、年会費の納入を8月10日までお願いいたします。

- * 年会費は、会員6,000円、準会員(大学院生)5,000円です。準会員は、大学院修了後、会員資格として取り扱います。会員書作展への出品を希望される方は、年会費とともに協賛費7,000円を合算の上、8月10日までに納入してください。
- * 未納分のある場合は、別途「未納年度用 払込取扱票」を送付いたしますので、併せて入金願います。会費納入に関しましてご不明な点がございましたら、会計局までご照会ください。
- * 会員各位の所属につきましては、申し出がない限り、事務局・会計局での修正はいたしません。所属先・住所等の変更がございましたら、可及的速やかにご連絡ください。

新規入会申込について

入会を申請される場合は、全国大学書道学会ホームページより「入会申込書」を印刷し、以下の手続きをお願いいたします。

- * 「入会申込書」に必要事項を記入の上、会計局宛てに郵送またはFAXしてください。
- * 「入会申込書」を確認後、会計局より払込取扱票(赤色)を送付しますので、通信欄に「新入会員(新入準会員)入会年度年会費」と明記の上、会費をお振込ください。

■口座番号 00110-9-613810 ■加入者名 全国大学書道学会
 〈会計局〉〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2
 群馬大学教育学部 書論・書道史研究室(永由徳夫)
 TEL・FAX: 027-220-7235 E-mail: no-naga@gunma-u.ac.jp